

たからざか



令和7年
1月発行
No.83

良質で高度な医療を提供し
住民に愛される病院を目指します。

大牟田市宝坂町2丁目19番地1
TEL 0944-53-1061

HP <https://www.ghp.omuta.fukuoka.jp/>



@OMUTACITYHP_W3

西3公式ホームページを
リニューアルし、インス
タグラムも始めました。
みなさん見てくださいね。

西3病棟は産婦人科と小児病棟です。産科では、妊娠中から育児まで母子と家族に寄り添ったサポートを行っています。小児では、小児倫理を守り年齢に沿った看護を行います。また、耳鼻科、整形外科、皮膚科などの診療科と連携し周術期ケアも取り組んでいます。地域の母子とご家族の健康をサポートしています。



小学生から幅広い学生対象者に命の授業を講演して「命の大切さ」を伝え、毎回好評です。



小児の付きそい家族も安心して入院生活が過ごせるよう、食事の提供もしています。(希望者・有料)



毎日メニューが変わる。産後おやつは、育児の合間のほっこりタイムになってます。

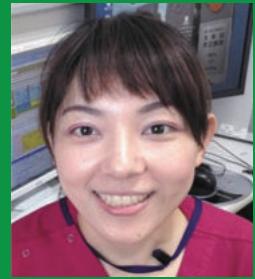


マタニティーヨガでは妊婦さんも安心してヨガができるように助産師がインストラクターをしています。

てんかんってどんな病気？ どんな治療？

～てんかんとうまく付き合うために必要なこと～

脳腫瘍外科 部長 え とう 江藤 とも こ 朋子



てんかんは慢性の脳の病気で、性別や年齢を問わず発症し、日本で 100 人に 1 人と言われており、誰もがかかる可能性のあるありふれた病気の一つです。

しかし、てんかんの原因が明らかとなり、治療も確立されつつあるにも関わらず、未だてんかんに対する誤解や偏見が残っており、てんかんを持つ人が苦しんでいるのが現状です。身近な病気だからこそ、てんかんを持つ人やその家族だけではなく、周囲の人も病気に対する正しい知識を持つことが大切です。

★てんかんってな～に～？

脳の神経細胞が異常に興奮することによって引き起こされる症状のことです。60～70%の人は抗てんかん薬の内服で発作が抑制できるため大半の人が普通に社会生活を送っています。また薬で発作のコントロールができなければ外科手術によって発作の頻度・症状を軽減することができます。

★てんかんの発作分類・症状

1. 単純部分発作

意識ははっきりしているけど何らかの症状を伴っている発作です。顔面や片方の手足のけいれんや痺れ、その他見え方の異常、気分不良や胃部不快感などがあります。

2. 複雑部分発作

意識がなくなる発作で、大人のてんかんで最も頻度が高い発作です。ご高齢者のてんかんではこの発作が約半数を占めます。ボーっとなり、今までしていた動作を止めて、呼びかけても応答がなくなります。口をモグモグ・クチャクチャさせたり、手足をモゾモゾ動かしたり、片方の手を不自然な格好につっぱらせたりする動きがみられることもあります。

3. 全般発作

おそらく皆さんがてんかん発作と聞いて思い浮かべるのがこの発作です。意識をなくし、手足をつっぱらせた後、ガクガクさせる全身のけいれん発作です。口から泡をふき、眼は白目をむきます。通常は数分でおさまります。

★てんかんの診断

大半の人は数分で発作が消失するため、診察時に発作を認めることはほとんどありません。そのため問診が重要です。問診の結果、てんかんが疑われた場合、脳波検査、CT・MRI 検査、血液検査などの精密検査を行い、てんかんの確定診断を行います。

★てんかん発作が起きた時の対処法

てんかん発作が起きると、本人は体の自由がきかなくなることも多いため、周りの人の助けが不可欠になります。

ほとんどのけいれん発作では、発作後 10～20 分以内に意識が回復することが多いです。発作そのものが命に危険を及ぼすものではないため、発作を起こした場所が危険な場所であれば安全な場所に移動させたり、衣服をゆるめたりしたうえで、そのまま様子を見ていて構いません。ただし、けいれんが長く続く場合（5分以上）や、けいれん発作を繰り返す場合は救急車を呼んで病院に搬送してください。

発作は止めようとして止まるものではありません。舌をかまないようにと、口の中に物を詰め込むと窒息する危険性あるため行ってはいけません。できれば誤嚥しないように頭部を横に向けて見守ることを心がけましょう。

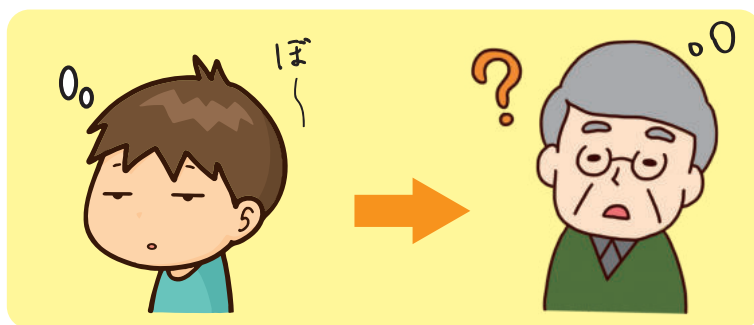
てんかんと診断されても、抗てんかん薬を飲み始めて発作が起こらない、睡眠中のみの発作、運転に支障を及ぼすおそれのない発作など例外的な場合を除けば、自動車運転は認められません。ただし発作を起こすと最終発作から2年間は運転はできません。（道路交通法で定められています）

★てんかんとうまくつきあっていくためには★

てんかんは長く付き合っていく病気であり、発作がコントロールできていれば支障なく社会生活を送れます。そのため抗てんかん薬は忘れずに服薬しましょう。また、発作が起きたときに周りの人に助けてもらえるよう、発作時の対処方法を知らせておくことも大切です。てんかん発作に遭遇すると突然のことで動揺する人も多いですが、落ち着いて行動しましょう。



■顔や手足の一部がしびれる。
意識ははっきりしている。



■数分にわたりポットとする。
意識が混濁したり、失われたりすることもある。

高齢者の場合は認知症と誤りやすい。



■全身を硬くする。



■両手足をガクガクさせる。

大牟田市立病院 ボランティア募集

院内で活動していただけるボランティアを募集しています。職員の指導の下に活動していただきますのでボランティアが初めての方でもご安心ください。

◆ 対象者 ◆

定期的に院内でのボランティア活動が可能な方（月に2～3回程度から）

◆ 主な活動内容 ◆

患者さんの案内、見守り、車の乗降サポート、車いすの介助など

◆ 申込み・問合せ ◆

当院総務課庶務担当（☎53-1061 ✉somu@ghp.omuta.fukuoka.jp）

※面談を実施し活動開始となります。

※ボランティアに対する報酬や交通費はお支払い出来かねますことをご了承ください。

詳細は当院HPをご覧ください→



出前講座のご案内

当院では、職員がその専門性を活かした出前講座を実施しています。今年度は「認知症予防のためのリハビリ」、「助産師が伝える『いのちの話』」、「肩こり予防」のほか、様々な講座を実施しました。出前講座にご関心のある方は、大牟田市ホームページの「市役所職員出前講座」をぜひご覧ください。

• URLから「市役所職員出前講座」をチェック！
(<https://www.city.omuta.lg.jp/kiji0032883/index.html>)

• QRコードから
「市役所職員出前講座」をチェック！

